

# 夫を息子を戦場に送らないで!——自衛隊家族の声です

アメリカの  
戦争に参加する

# 戦争法 安保法制

# は廃止を!

## 民主主義破壊の暴挙です

安倍政権は9月19日、国民の圧倒的多数の反対の声を無視して、アメリカの戦争に世界中で参戦する戦争法(安保法制)を強行しました。参院特別委員会では、委員長を自民党議員が取り囲み、審議を一方的に打ち切り、議事録には採決の事実さえ記録されていません。こんな暴挙は許せません。

## 憲法9条違反の法律です

この戦争法が戦争放棄の憲法9条違反であることは明白です。憲法学者の90%以上が、全弁護士会が、元最高裁長官が、憲法違反と判定しています。違憲の法律を認めれば、立憲主義を否定することになります。戦争法を廃止し、民主主義を取り戻さなければなりません。

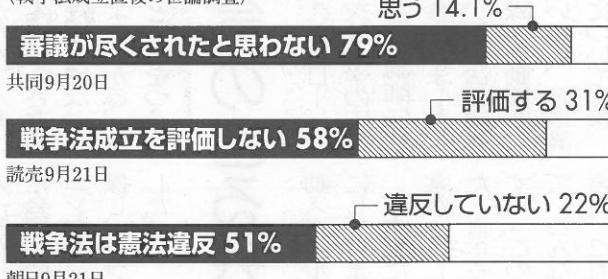
## 戦争への道一命かかる問題です

この戦争法が施行(来年3月末)されたら、いつでも自衛隊を海外の戦地に送ることになります。戦闘地域で米軍への弾薬・燃料の補給、武器の輸送なども行います。5月からは、南スーダンPKO(国連平和維持活動)参加部隊に、他国軍を武器で守る「駆けつけ警護」任務を与えます。自衛隊が海外で「殺し殺される」戦闘を行う危険が迫っています。



## 国民の多数は反対です

(戦争法成立直後の世論調査)



## 自衛隊員家族の声です!

(9月12日、「法律家6団体」が行った相談に寄せられた声)

●「親として絶対反対。自衛官は何も言えない。4人の孫もいる。心配で夜も眠れない」(自衛官の母親)

●「夫の海外派兵が決まっている。夫は身の危険のある任務も含まれると説明を受けている。子供も小さいので心配。」(自衛官の妻)

●「私の娘婿も自衛隊員です。2人の男の子にも恵まれ、今、幸せに暮らしていますが、ニュースを見るたびに不安な思いに駆られます。安倍首相の答弁を聞いていても、納得いきません。安倍首相その他の賛成議員が戦場に行けばいいと思います。」(親族)

## 廃止を! この声をひとつに

憲法を破壊する戦争法は廃止を!——立場の違いを超えて、この声をあげましょう。戦争法賛成の議員は落選させましょう! 戦争法廃止署名にご協力ください。